



TOHOKU
UNIVERSITY

留学について

インターナショナルオフィス室長
久保 正樹

令和7年11月29日

工学部生の国際化

- 1 . 世界を俯瞰する力がつく
- 2 . 新しい社会的価値はどのように生み出されるのか見ることができる
- 3 . 世界をけん引するトップレベルの大学の雰囲気
に触れることができる



海外留学の種類

短期研修 1～5週間程度

ほとんどのプログラムでは、長期休暇（夏休み、春休み）に渡航します（一部、重なる場合もあります）

交換留学 1学期～1年以内

学術交流協定校に留学し、授業聴講や研究活動等、現地の学生と同じようにキャンパスライフを送ります

ダブルディグリープログラム

日本と海外の2つの大学の学位を取得できる留学です
(東北大学指導教員、派遣希望先大学の指導教員と3者で綿密な計画を立案する必要があります)



学術交流協定

大学間協定：東北大学と先方の機関との間で締結

部局間協定：工学研究科と先方の機関との間で締結

メリット

交換留学が可能

留学の際に授業料不徴収（例外有）

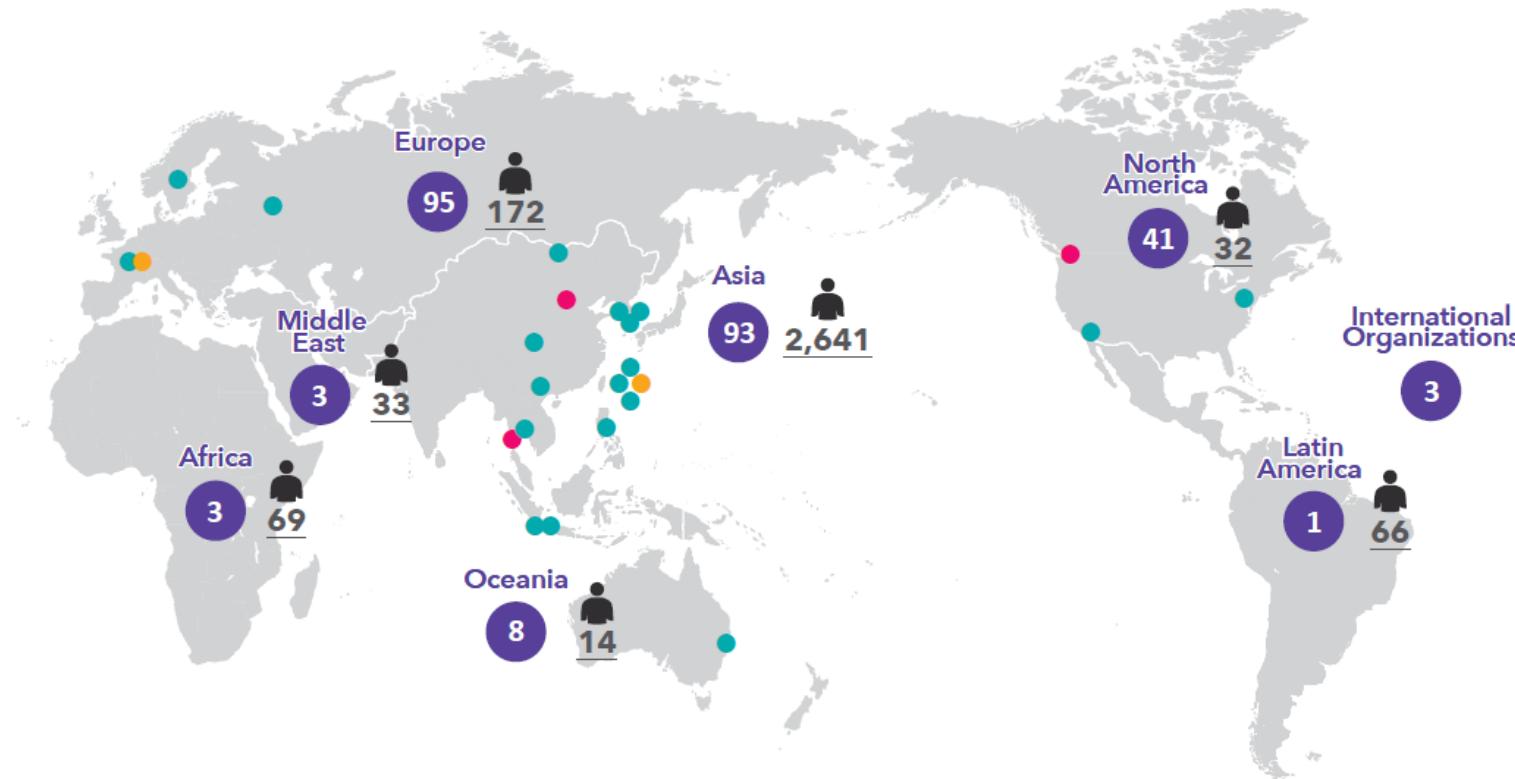
大学の宿舎への優先権あり

その他



大学間学術交流協定

36か国、245の教育・研究機関との協定



3 Representative Offices

- Tohoku University China Office (Beijing)
- Tohoku University Thailand Office (Bangkok)
- University of Washington-Tohoku University: Academic Open Space (UW-TU: AOS) (Seattle)



工学部・工学研究科の部局間学術交流協定

33か国、89の教育・研究機関との協定

Europe

47

Asia
35

Other
2

America
5



ケンブリッジ大学工学部



スウェーデン王立工科大学



香港大学工学部

短期プログラムの例

部局間協定校海外サマープログラム

- ・部局間協定校：8月～9月

学生国際工学研修プログラム

- ・フランス・トゥルーズ、モンペリエ：2月中旬

Global DeepTech-Designer プログラム

- ・フランス・エコール・ポリテクニーク：2月中旬

グローバルエンジニア欧州派遣プログラム

- ・エストニア・タリン工科大学：8月中旬、2月中旬

語学力

目安： TOEFL iBT 61 (ITP 500)、 IELTS 5.5

スコアの有効期限は2年間

大学により語学要件や試験の種類が異なります

ヨーロッパの大学では、学部の授業は現地語、大学院は英語という比率が高い（留学生のために学部で英語開講も増えている）
大学により英語以外の語学力を求められる場合あり

大学間協定校への留学

原則、留学希望大学が定める語学要件を満たしていること
語学要件が定められていない場合は、学内応募時に
TOEFL iBT 61 (ITP 500) 以上のスコア



留学費用・経済的支援

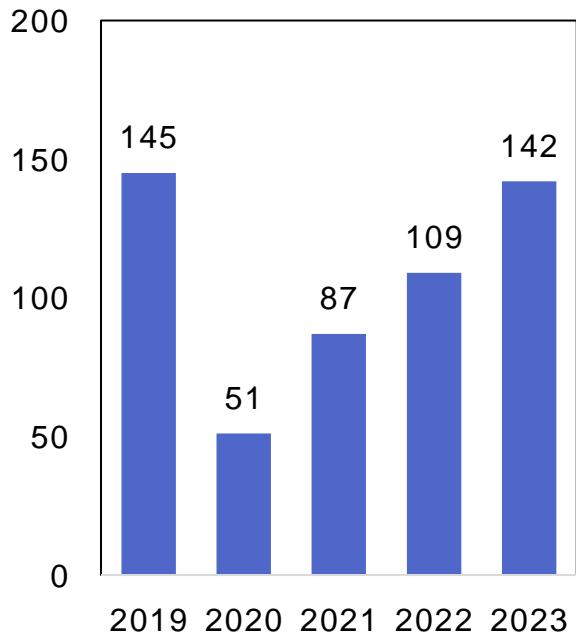
経費の一部(授業料等)を東北大学が支援または免除
様々な奨学金制度あり

- 各奨学金には要件あり、選考あり
- 学業成績を問われる場合が多い
- 留学先の国や地域に応じて月額が異なります
(例: 6~10万円/月)
- 工学部では、他の奨学金の受給資格がない場合等の救済措置として独自の奨学金制度を設けているため、どの奨学金もつかない状態で留学することはほぼありません



工学部・工学研究科学生の派遣留学生数

毎年約150名の
学生が留学



工学部・工学研究科主催・支援の海外派遣プログラム

分類	プログラム名	派遣先	期間等
海外研修 (教員引率)	入学前海外研修 (AOII期学生入学期)	ヨーク大学 (英国) 等 30 人	2週間程度 ※ 大学基金の支援有
	学生国際工学研修 (学部生主)	各国の教育機 企業 14 人	1週間 ※ 工学部独自の旅費支援有
海外大学主催 サマースクール	各種ショートプログラム (工学+文化体験)	ヨーロッパ諸国 マレーシア 米国など 14 人	プログラムにより異なる (2週間程度)
	DX社会プログラム	タリン工科大学 (エストニア) 11 人	2週間 (渡航)
	革新技術起業プログラム	エコールポリテク (フランス) 2 人	数週間 (オンライン, 渡航)
協定に基づく 交換留学	交換留学 (部局間)	部局間協定校 16 人	1年以下 ※ 工学部独自の奨学金有 (最大9万円/月)
学科等主催	研究交流など	各国	1週間程度

留学に適した時期と単位互換

留学に適した時期

学科・専攻や個人の単位取得状況により異なります

単位互換

短期研修の参加や研修内容、留学中に取得した協定校の単位を本学の単位に読み替え認定できる可能性があります

確認先：所属学科の教務委員教員もしくは留学担当教員

応募前に必ず、留学時期や留学期間、帰国時期、留学中に履修すべき科目、帰国後の単位互換の見込み等を確認してください。



危機管理・アシスタンスサービス

東北大学工学部は、日本エマージエンシーアシスタンスサービス(株)と契約しており、海外渡航する学生にはスマホ専用アプリをダウンロードしてもらっています

- ワンタッチ安否確認
- 危険情報の配信
- 24時間日本語で相談できるホットライン
- 現地の医療機関の予約・通訳

など、広範囲に渡るサポートを提供しています

万が一の緊急時には、保護者の旅行手配も可能です



国際教育交流担当部署

東北大学全体

- ・グローバルラーニングセンター（教員）
- ・留学生課（事務）
（川内キャンパス）

工学研究科

- ・インターナショナルオフィス（教員）（中央棟2階）
- ・国際交流係（事務）（中央棟3階）
- ・大学院教務係（事務）（中央棟3階）



EngIO

Website : 『EngIO』で検索してください



International Office (EngIO),
School of Engineering, Tohoku University
東北大学工学研究科
インターナショナルオフィス